

第 4 期愛知県がん対策推進計画に係る 2024 年度の取組

基本方針 I : がんの予防とがん検診による早期発見

1 がん検診の受診率向上対策について

(1) がん検診普及啓発事業

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布し、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施。

- ① がんに備えるチラシ（チェックリスト）の作成・協力企業において配布
 普段からがん罹患のリスクに備えることができるようチラシ「突然のがんに備えるチェックリスト～その時慌てないために～」を作成し、明治安田生命保険相互会社の協力のもと配布した（2,647枚）。
- ② 啓発ポスターの作成・がん対策推進連携企業や鉄道会社における掲示
 がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間（10月）に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行った。

作成部数：1,275部

配布先：連携企業（ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、
 名古屋鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、
 豊橋鉄道株式会社、愛知高速交通株式会社、
 スポーツ協会、市町村 等



キャンペーン月間ポスター

(2) 女性特有のがん対策

検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（大学、企業等）と連携した講演会やイベントの開催による啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施。

- ① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催
- 【第1回】開催大学：愛知県立大学、愛知県立芸術大学
 開催日：2024年7月10日（水）
 参加者：愛知県立大学の学生及び教職員等 147名
 （オンデマンド配信視聴者 189名）
- 【第2回】開催大学：愛知教育大学
 開催日：2024年11月13日（水）
 参加者：愛知教育大学の学生及び教職員等 19名

- ② 女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットや女性が活用しやすい啓発資材（あぶらとり紙）を配布
- ③ 女性が受診する際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報をHPに掲載
掲載機関数（2024年6月現在）：217
- ④ ③の医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

2 がん検診の精度管理等について

（1）がん検診精度管理委員会の開催等

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、専門家で構成する委員会での分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施。

（2）がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催。また、胃内視鏡検査について、従事する医師等に対する研修会を開催予定。

- ① 大腸がん検診従事者講習会、胃がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会を開催
開催日：2025年2月17日（月）～ 3月7日（金）（予定）
対象者：検診機関、保健所及び市町村等でがん検診に従事している診療放射線技師、臨床検査技師、看護師、保健師又は行政事務に携わる職員等
内 容：がん検診に従事する医療従事者等を対象に、がん検診の精度の向上を図る講習会を実施。YouTubeによる動画配信。
- ② 胃内視鏡検査従事者研修会の開催
開催日：2025年2月4日（火）～ 2月25日（火）（予定）
対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に携わる医師等
内 容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、本県の対策型胃がん内視鏡検診の現状と、効率的な胃がん発見のための留意点などを学ぶ研修を実施。YouTubeによる動画配信とZoomによる質疑応答を実施予定。

基本方針Ⅱ：医療機関の役割分化・連携を通じた適切ながん医療の提供

1 がん医療提供体制等

(1) がん診療連携拠点病院等の推薦等

国指定病院の推薦及び県指定病院の指定事務を行っている。

国指定の「がん診療連携拠点病院」(19 病院) と県指定の「愛知県がん診療拠点病院」(10 病院) を中心に、地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。

(2) がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っている。

(3) がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金の交付

がん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの運営や診療機能、医療連携機能の強化を図るために要する経費に対して補助金を交付。

補助対象： 15 病院（国指定病院のうち国から直接補助を受ける 4 病院を除く施設）
補助単価等： 7,605 千円（国 1/2、県 1/2）

2 AYA世代のがん対策

(1) 妊よう性温存治療費助成事業

将来自分の子どもを産み育てることを望むがん患者等に、精子や卵子等の採取・凍結保存にかかる費用及び、温存後生殖補助医療にかかる費用を助成。

助成件数（4月～12月）

| | | | |
|----------|------|-----------------|------|
| 胚（受精卵）凍結 | 9 件 | 精子凍結 | 13 件 |
| 未受精卵凍結 | 11 件 | 精巣内精子採取術による精子凍結 | 0 件 |
| 卵巣組織凍結 | 1 件 | 温存後生殖補助医療 | 17 件 |

(2) 愛知県がん・生殖医療ネットワークによるセミナーの開催

「愛知県がん・生殖医療ネットワーク」(SOFIA) において、妊よう性温存に関する職種間・院内外連携の現状と課題や、連携における看護師の役割について学ぶ医療者向けセミナーを実施。

基本方針Ⅲ：がん患者や家族が安心して暮らせるための環境整備

1 相談支援について

がん患者・家族に対する相談支援事業

(1) ピア・サポーター養成事業

活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催。

ピア・サポーター養成研修

ア 基礎研修（計4回）

開催日：2024年9月7日（土）、28日（土）、10月12日（土）、26日（土）

修了者：23名

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談 等

イ 応用研修（計4回）

開催日：（講義）2024年11月2日（土）、16日（土）

（実習）12月～3月に各人2回

修了者：16名（予定）

内 容：がん医療の基礎知識、模擬相談、病院内実習 等

(2) がん患者・家族に関する相談支援事業

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施。

実施状況： 4月から3月まで 原則毎月10回

利用者数（4月～12月）： 346名（前年比108%、前年同期間320名）

2 情報提供について

(1) がん患者サポートブックの作成

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「あいちのがんサポートブック」を毎年作成し配布。

(2) がんに関する情報をまとめたお役立ちシートの作成

がんに関する様々な情報に行き着くための入り口となるチラシを作成し、がん診療拠点病院等へ配布。



あいちのがんサポートブック (A5版)

← 発行時期：2024年11月

作成部数：11,000部

お役立ちシート (A4版) →

発行時期：2024年12月

作成部数：7,000枚



3 就労支援について

(1) 仕事と治療の両立に向けた啓発活動

働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

① 働く世代へのがん対策講演会の開催

がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとした医師やがん治療経験者による講演を企業と連携し開催

ア 企業名：藤倉化成株式会社

開催日：2024年7月31日(水) 参加者：従業員 37名

イ 企業名：株式会社アドテック富士

開催日：2024年9月25日(水) 参加者：従業員 173名

② 「あいち地域両立支援推進チーム会議」への参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図る。

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県(労働局、保健医療局、福祉局)、名古屋市 等

事務局：愛知労働局労働基準部健康課

(2) 「仕事と治療の両立支援セミナー」の実施

中小企業の経営者や人事労務担当者等を対象として、治療と仕事の両立支援セミナーを県内2か所(名古屋会場：2024年10月24日(木)、刈谷会場：2024年12

月 10 日（火）で開催。

セミナーは、治療と仕事の両立支援に関する基調講演のほか、企業における両立支援の取組事例紹介等の内容にて実施。

4 アピアランスケアについて

愛知県がん患者アピアランスケア支援事業

医療用ウィッグや乳房補整具等を購入したがん患者の購入費用を支援する市町村に対して助成。

（参考）2023 年度実績 医療用ウィッグ 2,762 件、乳房補整具 871 件

5 がん診断後の自殺対策について

看護師等のためのがん患者さんのこころのケア対応研修

開催日：2024 年 12 月 1 日（日）

内 容：がん患者の抑うつ状態に早期に気づいて適切な対応ができるよう精神心理的苦痛に対する支持的コミュニケーションスキルや対応方法等について学ぶ。

6 ライフステージに応じた療養環境への支援

（1）小児がん対策

病気療養児の教育に携わる教員や医療者等が、日頃の支援の中で困っていることやわからないことについて、研修会にて意見交換や情報交換を実施。

開 催 日：2024 年 8 月 5 日（月）

講義内容：「病気や障害のある子どものきょうだいについて考える」

講 師：大学教授

参加者：31 人

（2）若年がん患者在宅療養支援事業

0 歳から 40 歳未満の若年がん患者の在宅療養を支援する市町村に対して助成

（参考）2023 年度実績 66 件

基本方針ⅠからⅢを支える基盤の整備

1 がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

(1) 外部講師を活用した現代的な健康課題理解増進事業

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる子どもの育成を目的に、本県のがん教育のあり方や地域支援体制の検討、外部講師の活用を図るため、協議会の開催や研修会、外部講師派遣事業を実施。

① 外部講師を活用した現代的な健康課題理解増進事業協議会の開催

ア 第1回協議会

開催日：2024年7月9日（火）

内 容：令和5年度の事業報告及び愛知県のがん教育の取組状況等について
令和6年度の事業内容について

イ 第2回協議会

開催日：2025年2月4日（火）（予定）

② がん教育外部講師派遣事業

学校の授業や地区の教員研修等の外部講師派遣に係る講師料の補助

(2) がん教育外部講師リストの作成

がん診療連携拠点病院等及びがん患者支援団体の協力の下、がん教育外部講師リストを作成し、愛知県教育委員会及び名古屋市健康福祉局に提供。（がん教育外部講師リスト 29病院 154名 2団体 32名）

2023年度の外部講師リスト活用状況 38校

2 がん登録の利活用の推進

(1) 全国がん登録事業

医療機関から提出された届出情報について、全国がん登録システムを用いて、審査・突合・整理を行った。

愛知県の2022年の届出件数は75,957件、届出医療機関は142機関であった。2020年診断での罹患数は48,887名、死亡数は19,285名であった。

(2) 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

2024年度の利用申請は12月末現在4件あり、愛知県がん登録情報利用等審議会を2回（7月1日、12月12日）開催し、3件を情報提供した。（1件は再審議予定）